



Hiroshima University

Emergency & Critical Care Medicine

EMERGENCY & CRITICAL CARE MEDICINE

広島大学 救急集中治療医学



# Prehospital & Emergency Care

## ～ Our Evolution, Your Smile ～

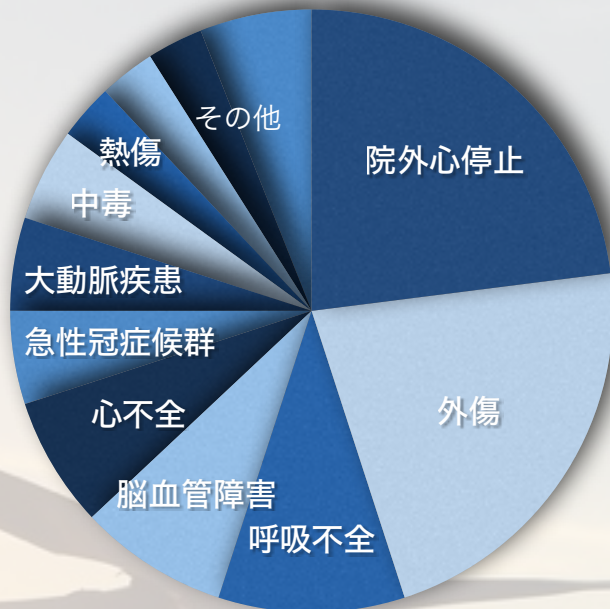
平成26年度入室患者内訳

### 救急初期診療～全身管理まで

広島県内から小児から成人まで内科系疾患・外傷を含め多岐にわたる患者が搬送されてきます。また他病院からの重症患者の転院搬送も積極的に受け入れています。救急車からヘリまでの初期診療を行い、必要であれば他科と連携して治療を行い、その後の管理も含め救急科主体で行っています。その他Rapid response system (RRS)による院内での急変対応も積極的に行っています。

### ドクターヘリ

広島県は北部に中国山地、南部には瀬戸内海に数多くの島嶼部を有し、全国でも北海道に次いで2番目に多い「無医地区」を抱えています。当院は2013年5月より運航を開始した広島県ドクターヘリの基地病院です。協力医療機関である県立広島病院と連携し、広島ヘリポート（広島市西区）に発進基地を整備して運用しています。ドクターヘリは30分以内に県内全域に迅速に救急集中治療を提供し、地域医療体制の中で欠かせない存在となっています。また、「中国5県ドクターヘリ広域連携協定の締結」や県内に2機配備された消防・防災ヘリとの連携など、全国でも先駆的なヘリコプター救急医療体制の構築に取り組んでいます。



### 災害医療・緊急被ばく医療

広島県災害拠点病院として災害医療活動、人材育成に積極的な取り組みを続けています（DMAT隊員18名在籍）。また、広島大学は被爆地「ヒロシマ」の大学です。国の「原子力災害対策指針」の中で「原子力災害医療・総合支援センター」、「高度被ばく医療支援センター」に指定され（全国では5カ所）、日本の被ばく医療体制の中で中心的な役割を担っています。東日本大震災と福島第1原発事故では病院の救急集中治療部門として、DMAT派遣、緊急被ばく医療チームの継続的な派遣を担いました。緊急被ばく医療の専門家を育成する拠点として、大学院の教育カリキュラムや、HICARE（放射線被曝者医療国際協力推進協議会）/IAEA（国際原子力機関）と連携した教育プログラムを提供しています。

### ICT (Information and Communication Technology)

病院前救護・災害現場との情報共有の研究を行っています。

2011年から広島市消防局全救急車にカメラ・生体モニターを搭載し、救急車内の映像を各救命センターに配信するシステムを開発し広く活用されています。それを活用した研究も積極的に行っています。

# Critical Care

## ～ Our Evolution, Your Smile ～

### 敗血症治療のオピニオンリーダー

重症敗血症・多臓器不全の患者を広島全域より受け入れており、また院内患者の敗血症治療にも中心的役割を担っています。小児も含めた血液疾患患者や臓器移植患者も多く、複雑な重症病態に各診療科と垣根低く協働して治療にあたっています。RRSによる早期治療介入や感染症科との週1回の合同カンファレンスでの抗菌薬治療戦略を通して、病院全体の質改善にも取り組んでいます。

### ECMOセンターとして最先端の呼吸管理を

体外式膜型人工肺（VV-ECMO）症例は国内トップレベルの症例数を誇っており、近隣病院との連携で重症呼吸不全患者の集約化ができつつあります。呼吸器専門医の資格をもつ専門医が常駐し、間質性肺炎やその他の呼吸不全の救命に効果を上げています。看護師や臨床工学技士、理学療法士など多職種でのECMOチームを構築しており、一般的な人工呼吸器管理からECMOシミュレーションまで多くの院内勉強会を開催しています。

### チームでの余裕のある診療体制

1日のスタートはカンファレンスから始まります。

最大34床を有する当科の患者について、研修医～卒後10年目の医師で構成される2チームで患者を分担しており、カンファレンスでは若手を中心とした熱い治療方針の議論が交わされます。重症患者の集中治療を中心とし、救命センターとして急患対応にもあたります。チーム制のため勉強会などへの参加に余裕があり、日常診療以外でのスキルアップのチャンスに恵まれています。また、ママさんを含んで3名の女性医師が在籍しており、女性にも働きやすい環境を提供できています。

### 広島県内唯一の大学病院として

救急集中治療は黎明期にあり、先達の絶え間ない努力を引き継ぎ飛躍させていく義務があります。週に1回のJournal Clubを通して臨床研究の理解を深め、レターの投稿や自分での研究計画の立案などを上級医と共に学びます。もちろん若手だからといって学ぶだけでなく、多くの研修医やポリクリの医学生へのアウトプットを経験することで、教育の醍醐味を味わうことができます。自らが教えた研修医や学生が救急集中治療の門を叩いて来てくれた時の喜びは診療とは一味違うものです。

# 多種多様な研修プログラム

## 1. 中核としての高度救命救急センター/集中治療部

広島大学病院高度救命救急センター/集中治療部は、県内唯一、中四国で3施設しかないドクターヘリを有する高度救命救急センターのひとつです。3次救急を中心に市内の重症救急患者を最後の砦として受け入れているほか、広島県西部から、島根県西部、山口県東部を含む広域におけるドクターヘリ搬送の拠点病院として機能しています。また、敗血症や体外式膜型人工肺（ECMO）の豊富な診療実績を活かし、日本で他に存在しない呼吸不全/敗血症センターとなることを目指しています。大学では、このような特殊診療を研修可能です。また、大学の利点を活かした単施設あるいは多施設と共同した臨床研究、肺炎/呼吸不全や敗血症の基礎研究、あるいは、新規救急診療機器や救急ICTシステム開発などの研究に携わることが出来ます。子供を持つ女性の医師も勤務しており、また院内保育園/病児保育園も充実しており、女性が第1線で働くことも可能です。



## 2. 広島県内を網羅する、多種多様な市中病院との連携

単一大学病院である地域状況を活かし、広島県内のほとんどの主要病院（とりわけ、救命救急センターや特定集中治療室）と密接な関係を保っています。各病院における得意分野があり（初期診療、外傷、集中治療、地域医療、総合的救急など）、これらを垣根低くローテーションすることで幅広い救急診療の知識と技術を習得することが出来ます。

関連施設：県立広島病院、広島市民病院、JA広島総合病院、JA尾道総合病院、安佐市民病院、NHO呉医療センター、中国労災病院、呉共済病院、NHO東広島医療センター、興生総合病院、公立邑智病院など



## 3. Hiroshima-Kyoto collaboration

京都の主要病院とも良好な関係があります。とりわけ、外傷救急、総合内科的救急、ER特化診療、1-3次全般のシームレスER-ICU診療などにおいて、京都の主要救急施設への国内留学が可能です。また、京都の2大学とは、基礎研究において連携を行っています。

連携施設：京都大学、京都府立医科大学、NHO京都医療センター、京都第二赤十字病院、市立福知山市民病院など



## 4. 小児救急・集中治療研修

日本を代表する小児医療専門施設とのつながりを活かし、小児領域の共同研究のほか、小児救急・集中治療の集中的短期研修を行えるシステムも構築しています。

連携施設：長野県立こども病院、国立成育医療研究センターなど





教授：志馬 伸朗

## 君と明日も廻していこう

救急集中治療医学/救命救急・集中治療の特徴は、コラボレーションだと思います。多種多様な急性期医療の得意/専門分野を持った救急集中治療医が集い、各専門診療科や、メディカルスタッフと力を合わせて、患者さんをひとりひとり救って行く、これが私たちの使命でもあり目標でもあります。

しかし現実はその容易ではありません。急速に展開する病態故に、また、医療の限界を超えた複雑性や困難性故に、救命しえない、社会復帰し得ない事例を経験することは希ではありません。不良な転帰は、現場の協力体制を大きく阻害する要因となります。

一方で、転帰を改善しうる余地があるからこそ、総力を結集する意義があると捉えることも出来るでしょう。我々は現実に真摯に向き合い、限界を認識しつつも、可能な限り提供しうる知識と技術を持って今日も診療に当たるのです。その中で、ひとりひとりの医療従事者が進化し続ける努力を止めないこと、そしてその力を上手くコラボすることを目指すのです。

私たちのこの取り組みや考えに共鳴し、加わって頂ける仲間を、求め続けています。

“今日も廻ってる ああ この世界 愛しき世界 君と明日も廻していこう”

『進化論』 Mr. Children

2016年初頭

広島大学大学院医歯薬保健学研究院応用生命科学部門救急集中治療医学  
志馬伸朗

### 広島大学病院 施設概要

- 名称 広島大学病院
- 所在地 広島県広島市南区霞1-2-3
- 病床数 746床
- 診療科 48科



- 広島大学 救急集中治療医学 概要
- 高度救命救急センター20床
- 集中治療部6床、HCU10床

- 医師数 常勤医14名（男性12名、女性2名） フェロー6名  
大学院生4名
- 専門医 救急科専門医16名、集中治療専門医4名、麻酔科専門医2名  
呼吸療法専門医3名、脳神経外科専門医1名、総合内科専門医1名
- その他資格 日本DMAT隊員6名、JATECインストラクター4名

広島大学 救急集中治療医学  
見学・研修希望者募集

連絡先：志馬伸朗 nshime@hiroshima-u.ac.jp

津村 龍 rtsumura@hiroshima-u.ac.jp

電話番号：082-257-5456

FAX：082-257-5589

